

神戸市外大だより

Vol.227
Winter

第13回全国大学生マーケティング・コンテスト(MCJ)決勝大会 報告

～2年連続外大チームが入賞～

2024年12月14日(土曜)、大学生がマーケティングプランを英語で発表し、競い合う「第13回全国大学生マーケティング・コンテスト(MCJ:Marketing Competition Japan)」の決勝大会を株式会社神戸酒心館のご協力のもと、酒心館ホールにて開催しました。本学はこの大会を通して、参加学生の分析力、思考力、想像力、企画力、発信力、英語プレゼン力の向上を図るとともに、ビジネス課題解決に実践的に取り組むことによって社会への貢献を目指しています。



今年度も本学から出場したチームが入賞!

第13回目を迎える今年の大会は、神戸酒心館への来場者増加～酒蔵ツーリズム*の振興を通じた地域経済活性化～をテーマに参加チームを全国の大学から募り、予選には9大学22チームから応募がありました。書類と動画による予選を通過した神戸市外国語大学、関西外国語大学、専修大学、阪南大学、法政大学の5大学より8チームが決勝大会に出場しました。決勝大会当日は、神戸酒心館への来場者増加と地域振興を通じた地域経済活性化について、大学生らしい斬新なプランでプレゼンテーションが繰り広げられました。発表後には、マーケティングの専門家である審査委員からの鋭い質問に真剣に答えていました。優勝は法政大学の「Team Ochoco」、2位は神戸市外国語大学の「Hyggejisan」、3位に法政大学の「La Dolce Sip」が入賞しました。本大会の様子は、MCJ公式YouTubeチャンネルにて後日配信予定です。*「酒蔵ツーリズム」は、佐賀県鹿島市の登録商標です。



MCJ Official - YouTube

インタビュー



左から 国際関係学科3年生 浦舜さん、
国際関係学科3年生 鈴木亜月さん、
国際関係学科4年生 黒木清志郎さん、
国際関係学科3年生 元満健太さん

2位入賞 Hyggejisan (神戸市外国語大学)

Q.2位に入賞されましたが、率直な感想は?

A. 正直、悔しいです。法政大学のMCJ連覇をストップさせたいという思いでした。それでも、2位という結果に対しての後悔は一切ありません。チームメンバーみんなやり切れました。本大会のためのプラン作成はとても大変でしたが、ミーティングやプレゼン練習等、みんなで取り組んできたすべての瞬間が楽しい時間でした。1つのトピックに対してプランを練って、大人数のオーディエンスの前で発表できた経験は、一生の財産になると確信しています。

Q.決勝大会へ向けてどのように準備をしてきましたか?

苦労した点
A. メインプランの完成にはとても時間がかかりました。プランのアイデアがなかなか思い浮かばないのに加え、メンバーそれぞれが授業、就活等で忙しく、MCJのためのスケジュールを合わせるのもとても大変でした。

工夫した点
A. なるべくスライドと内容をコンパクトにまとめ、分かりやすくシンプルなプレゼンにするよう心掛けました。プレゼン内容を作成する序盤では、伝えたい内容を詰め込んでおり、情報過多でしたが、審査員の方が講評で仰っていたように、伝わりやすさに重きを置き、分かりやすくシンプルになりました。

神戸市外国語大学から2チームが決勝大会進出



Hyggejisan



A little innovators

Q.この経験を活かして、今後挑戦したいことは?

A. MCJでは、1つの物事に対して多角的な視点を持って考えるという経験を積み、多くの学びがありました。対象の強み、弱み、客層等、あらゆる要素を俯瞰して分析しました。この工程は、社会人になると少なからず必要になるものであると思います。そのような経験を在学中に出来たことは大変有益であると確信していますし、自分たちが社会人になった時には、この経験を活かして活躍したいと思っています。

CONTENTS

- | 01. MCJ決勝大会開催報告 | 02. スカラシップ授賞式報告 | 03. 語劇祭開催報告/学生支援班からのお知らせ
- | 04. 神戸市外大×外務省Alumniプロジェクト | 05. おしごと図鑑/魅力発信事業開催報告/出版物紹介